

第42回望星旗少年武道大会（柔道の部）実施要項

1. 目的 望星という名称は、東海大学建学の教育指針の一つである「若き日に汝の希望を星につなげ」に由来する。希望を胸に常に前進する姿は未来を背負う少年達の姿である。本大会は、柔道、剣道の武道を通して心身ともに健康で希望溢れる少年を育成することを目的とする。
2. 主催 学校法人東海大学
3. 主管 学校法人東海大学 望星学塾（大会申込受付事務局）
東海大学体育学部武道学科 柔道コース（大会運営担当）
東海大学スポーツプロモーションセンター（実行委員会事務局）
4. 期 日 2024年11月24日(日)
武道館開場：7時30分（受付開始） 武道館 1F フロア
選手計量：7時30分～8時30分 武道館地下トレーニング場前（準備が整い次第）
監督会議：8時30分 武道館 剣道場
開会式：9時00分 武道館 柔道場
【予選リーグ】 9時30分～13時00分（予定）
【決勝トーナメント】 13時30分～16時00分（予定）
【表彰式・閉会式】 16時00分～16時30分（予定）
5. 会場 東海大学湘南キャンパス武道館 神奈川県平塚市北金目4-1-1
6. 参加資格 (1) 低学年の部（監督1名、選手3名）、高学年の部（監督1名、選手5名）
(2) 参加する選手は、2024年4月現在において小学校2年生以上の児童である（幼児不可）。
(3) チームは責任者のいる団体であること。
(4) 出場チームは、全日本柔道連盟に団体登録していること。また、選手はその団体から登録していること。
(5) 出場チームの監督又はコーチのうちいずれかは、全日本柔道連盟公認指導者資格（C指導員）以上を保有し、大会当日は有資格者が監督又はコーチとしてチームに帯同していること。
(6) 本大会の事務局より案内要項が届いた団体およびこの先3年間以上出場できる団体に限る。
(7) 出場チームは1団体につき、低学年の部・高学年の部 各1チームとする。
※出場チームは、下記の大会ホームページから団体および選手の登録をGoogleフォームで行ってください。
第42回望星旗少年武道大会（柔道の部）申し込み
大会ホームページURL【<https://www.u-tokai.ac.jp/news-section/1068004/>】
または、右のQRコードを読み取ってください。
大会参加申込先：大会申込受付事務局宛【学校法人東海大学 望星学塾】
E-mail：bosei@tokai.ac.jp FAX：0422-53-1025
担当：原口・井澤
- (8) 申込期日：2024年10月25日(金) 12:00必着
7. 参加費 低学年の部・・・3,000円、高学年の部・・・5,000円
振込期限：2024年10月25日(金)までに下記へお振込みください。
振込み先：横浜銀行（0138） 東海大学駅前支店（663）
[種別] 普通預金 [口座番号] 133707
[口座名義人] 学) 東海大学 ガク) トウカイダイガク
※振込の際、振込名義(学校名)の頭に必ず「02」と付ける。
松前柔道塾の例「02 マツマエジュウドウジュク」
8. 選手変更 登録選手の変更は、傷病者の場合に限り大会当日の受付時まで認め、それ以降は認めない。大会申込受付事務局へ問い合わせるか、専用の変更届を提出すること。ただし、パンフレットへの反映はしないものとする。
9. 審判規定 (1) 国際柔道連盟試合審判規定及び国内における「少年大会特別規定」で行い、望星旗大会申し合わせ事項を併用する。
(2) 試合時間は全て2分間とする。



大会ホームページ
QRコード

10. 組 合 せ 主催者が行う。

11. チーム編成 (1) チームの編成は道場単位とする。(混合チームは認めない)
チーム編成は以下のとおりとする。

- ①低学年の部：3人制で体重の軽い順に配列する。

区分	学年
先鋒	2年生
中堅	3年生
大将	3年生

※先鋒のみ1年生の出場を認める。

- ②高学年の部は、5人制で体重区分を設ける。

区分	学年	体重
先鋒	4年生	無差別
次鋒	5年生	45kg以下
中堅	5年生	無差別
副将	6年生	50kg以下
大将	6年生	無差別

※下学年の選手は、上学年の選手の位置（体重区分による）に出場できる。ただし、選手は学年順に配列する。

※高学年の次鋒・副将は計量を実施する。計量時間：8時15分～9時00分

計量の服装については、下穿きとTシャツとする。

12. 試合方法 (1) 試合は、まず3チーム又は4チームによるリーグ戦を行い、次に1部（リーグ戦1位）・2部（リーグ戦2位）・3部（リーグ戦3・4位）の決勝トーナメントを行う。

- (2) 各チーム低学年は3名、高学年は5名、の点取り対抗戦とし、試合毎のオーダー変更は認めない。

- (3) 勝敗の判定基準について

勝敗の決定基準は、「一本（合技）」「技あり」「僅差」とする。「僅差」とは、「指導」差が2以上ある場合に少ない方の選手を「僅差」による優勢勝ちとする。得点差がなく、かつ「指導」差が1以内の場合は「引き分け」とする。

- (4) リーグ戦における順位決定は、次のとおりとする。

(ア) リーグ戦を通じてポイントの多いチームを上位とする。

勝ち＝2点、引き分け＝0.5点、負け＝0点

(イ) アで同等の場合は、勝者総数の多いチームを上位とする。

(ウ) イで同等の場合は、「一本」による勝者総数の多いチームを上位とする。

(エ) ウで同等の場合は、「技有り優勢勝ち」による勝者総数の多いチームを上位とする。

(オ) エで同等の場合は、敗者総数の少ないチームを上位とする。

(カ) オで同等の場合は、「一本」による敗者総数の少ないチームを上位とする。

(キ) カで同等の場合は、「技有り」による敗者総数の少ないチームを上位とする。

(ク) キで同等の場合は、抽選によって順位を決定する。

- (5) 決勝トーナメントの勝敗決定の方法は、次のとおりとする。

① 勝ち数の多いチームを勝ちとする。

② 勝ち数が同じときは内容（「一本勝ち」「技有り」「優勢勝ち」の勝ち数）による。

③ 内容も同じときは、代表戦を1回行い、必ず優劣を決する。

④ 代表選手出場する選手は、「引き分け」の中から抽選で1組を選んで2分間の代表戦を行う。得点差がなく、かつ「指導」差が1以内の場合は旗判定で勝敗を決する。なお、ゴールデンスコアは行わない。

<望星旗大会申し合わせ事項>

A) 立ち姿勢・寝姿勢の攻防において、あまりに無理な体勢（肩、首、背中等）や審判が「危険」「危ない」と判断した場合は必ず「待て」を宣告する。

B) 場外の判断に関しては、正規の試合場ではないため片方の選手が出た場合は「待て」を宣告する。寝技においては安全面を考慮し、主審の判断に委ねるが、モノや人に当たった場合は安全管理・危機管理の観点から早めに「待て」を宣告する。

- C) 通称逆背負投げや両袖を持った技に関しては国内における少年大会特別規定を採用する。
D) 柔道衣の乱れに対する罰則は審判より口頭での注意のみとし、指導は取らない。

13. 表彰 1部トーナメントの優勝、準優勝、3位、ベスト8を表彰する。2部・3部トーナメントの優勝、準優勝を表彰する。
14. 安全対策 (1) 安全管理には、医師、看護師を配置し万全を期す。
(2) 参加する選手には、各団体または各自で保険に加入する。
(3) 大会中の不慮の負傷・疾病については、応急的な一時処置は主催者側で行うが、それ以上の責任は負わない。
(4) 皮膚真菌症(トンズランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができないこともある。
(5) 脳震盪対応について、選手及び指導者は下記事項を遵守する。
① 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
② 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。なお、至急専門医の精査を受けること。
③ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
④ 大会事務局に対し、書面により事故報告書を提出すること。
15. その他 (1) 監督の言動・行動については原則(公財)全日本柔道連盟「試合場におけるコーチの振る舞いについて」に従う。
(2) 保険証を必ず持参すること。
(3) 大会期間中の貴重品等は、各チームで責任をもって管理する。破損・盗難等の責任は負わない。
(4) 昼食時間は特に設けないため、各自で栄養補給に努めること。
(5) ゴミ等は必ず各自で持ち帰ること。
(6) 自家用車での来場を希望する団体には、大会事務局より別途案内を送付する。
<応援・観戦について>
(1) 試合会場の収容人数に限りがあるため、試合をするチームを優先し、試合の無いチームは控室(剣道場)に待機すること。
(2) 応援者はマナーを守り、審判や係員、相手選手への尊重につとめること。

16. 参加における個人情報及び肖像権に関わる取り扱いについて大会実行委員会は、大会参加申込書等で取得される個人情報及び肖像権の取り扱いに関して下記のとおり対応する。

記

1 参加申込書に記載された個人情報の取り扱い

- ① 大会プログラムに掲載される。
- ② 競技会場でアナウンス等により紹介される場合がある。
- ③ 競技会場内外の掲示板等に掲載されることがある。
- ④ 組み合わせ等の内容が大会関連ホームページに掲載されることがある。
- ⑤ 氏名・学校名・学年については、報道の正確性を期するため、大会開催前に報道機関に提供する場合がある。

2 競技結果(記録)等の取り扱い

- ① 大会事務局が作成する大会結果を大会関係ホームページ等で公開する。
- ② 主催者に認められた報道機関等により、新聞・雑誌及び大会関連ホームページ等で公開される場合がある。
- ③ 大会プログラム掲載の個人情報とともに、主催者が作成する大会報告書に掲載される。
- ④ 優勝及び上位入賞結果(記録)等は、次年度以降の大会プログラムに掲載される場合がある。

3 肖像権に関する取り扱い

- ① 主催者に認められた報道機関等が撮影した写真が、新聞・雑誌・報告書及び大会関連ホームページ等で公開されることがある。
- ② 主催者に認められた報道機関等が撮影した映像が中継または録画放映及びインターネットにより配信される

場合がある。また、DVD 等に編集され、配付される場合がある。

- ③ 大会時に撮影する映像（ケアシステム等）を審判員及び指導者の技術向上のための研修会資料として使用する
場合がある。

4 実行委員会としての対応について

- ① 取得した個人情報を上記利用目的以外に使用することはない。
- ② 参加申込書の提出により、上記取り扱いに承諾したものとして対応する。
- ③ 大会役員、競技役員、運営役員、その他各種委員や補助員、実行委員会と大会に関する契約をしている者、大会運営関係者及び観客の皆様については、上記取り扱いに承諾したものとして対応する。

10. 大会事務局 **【大会申込受付事務局】 学校法人東海大学望星学塾**

〒180-0013 東京都武蔵野市西久保1-17-1

TEL 0422-51-0161 E-mail: bosei@tokai.ac.jp

担当：原口、井澤

【実行委員会事務局】 東海大学スポーツプロモーションセンター

〒259-1292 神奈川県平塚市北金目4-1-1

TEL 0463-58-1211（代表） E-mail: spc-event@tsc.u-tokai.ac.jp

担当：沢田